

協会ニュース

2022



Food Labo 菜果 の地域連携と商品開発 2

「会津産さつまいもを使った焼き芋づくり」

Food Labo 菜果では、就労支援 A 型事業所としての課題である地域連携、農福連携として「コーヒーカーをたい肥にする試み」に取り組んでおり、順調に「たい肥化」が進んでいます。



そして、もう 1 つの取り組みは「会津産さつまいもを使った焼き芋づくり」です。昨年、連携のある県中の事業所さんからさつまいもを仕入れ、商品開発としてまずは「焼き芋づくり」をしてきました。しかし、地産地消という農福連携の大きな目的を考えると、やはり会津産のさつまいもを手に入れたいと思っていました。

ご存じのようにさつまいもは茨城、千葉、徳島、鹿児島などが産地としては有名です。今まで会津ではやや土地に合わなかったのか積極的にさつまいもは生産されてきていなかったようですが、ここ数年の「焼き芋ブーム」もあってか、思い切った規模で生産する農家さんが出てきました。銘柄は、やはり、ねっとり系で甘みの高い「紅はるか」「シルクスウィート」が主流のようです。

Food Labo 菜果では、縁あって、初めてのさつまいも栽培をする農家さんと極めて協力的な条件で契約を結ぶことができました。（さらに、「たい肥」の材料となる「もみ殻」「米ぬか」もご提供いただくことができています）。

現在、様々なところで焼き芋は販売されていますが、コストを抑え、皆様に手にしていただきやすい商品にすることを目標に良い商品づくりに取り組んでいます。また、焼き芋だけでなく、さらに手を加えていくか、なども検討課題です。

また、適切な方法で長期保存することで旨味がアップすることがわかっていますし、来夏は「冷やし焼き芋」として楽しんでいただける準備をして、1年を通した販売ができるように取り組んでいます。

焼き芋の作り方をご紹介します
はじめに～ 洗い、下処理しまあ～す
それから～ 新聞紙で包みまあ～す
さらに～ アルミホイルで包みまあ～す
そして～ 石油ストーブで四面を
良い加減に焼きまあ～す
そうすれば～ ハイ、出来上がり！

*ポイント
美味しそうに食べること!?



安くておいしい「焼き芋」はまだ菜果の店頭には並んでおりませんので、直接、事務局や菜果にお声掛けください！



ほっかほか
試食タア～イム



活動報告 その一 日中活動と報告

ジョイ2 & ジョイ3 合同芋煮会

お替わりくださ〜い!?

食べすぎ注意!?



小春日和の11月11日(金)、感染症対策を万全にして、ジョイ2・3合同の芋煮会を19名の参加で行いました。お替わり自由で、中には3杯+おにぎり大3個を食べた方がいました。皆さんお腹も心も大満足の様子でした。全員参加のダーツゲームは、点数を競い合いました。1等〜3等そしてブービー賞には賞品(マスク・ティッシュ箱・カイロなど…)が当たるというお楽しみ会。皆さん、合計点数を計算し「〇〇より〇点勝った!!」と本気モードにスイッチが入ってとても楽しいイベントとなりました。



弥七農園だより 弥七デビュー!!

今日が初めての農園での仕事です。収穫したジャガイモの芽掻き作業をしました。初めての仕事でしたが、慣れるとまあまあできるようになりました。これからも参加したいと思います・・・とのこと。



落花生の収穫や里芋の皮むきなどの仕事もしました。

活動報告 その二

エンジョイ通信より

秋を満喫 旅行特集



ひとコマ

ある日午後のジョイの活動中のことでした。

Mさん（40代）とY（60代）さん。同じ空間にいても話したり、気にかけてたりしない間柄の二人です。しかし、それぞれ個々人の活動をしている際に突然 Yさんが話し出しました。

Yさん：「俺もそれやってみたい！」

唐突にMさんの作業をやりたいと言いました。Mさんの行っている作業は繊細な作業でなかなか難しいものです。Yさんはあまり手先が器用なタイプではないので、スタッフの間では難しいだろうと話していました。

Yさんは手先は不器用ですが、性格は我が道を行くタイプ。他人が何をしようが興味が無いように見えていましたが今回のことでMさんのしている細かい作業にも興味があることが分かり、検討してみることにしました。しかし、気難しいYさんのことなのでできなかったときにイライラしてしまうのではないかとということもあり、別の作業を提案していました。それでもYさんは、

Yさん：「できるからやらせてください。男に二言はないです。」

と一歩も引きませんでした。Yさんとの根競べに負けたスタッフは強い気持ちに答えようとやらせてもらうことにしました。

やはり最初は上手く出来ず、イライラしていた様子もありましたが、そこは負けず嫌いなYさん。時間をかけてゆっくりと自分のペースで進めていき、最終的にはしっかりできるようになりました。それからはMさんが作業をしない日でも自ら作業するようになり、その他にも様々なことができるようになりました。やれることが増えていくことにYさんも充実した日々を送っている様子で、スタッフもうれしくなりました。

今回はYさんの積極的な気持ちと言動がきっかけでしたが、支援者側も決めつけずに、メンバーさんの無限の可能性を信じて応援することも大事なことだと今回教えてもらったように思います。今後もメンバーさんに寄り添いながら支援していきたいと思いません。



編集後記

11月にサービス管理責任者実践研修を受講してきました。これで晴れてサービス管理責任者として業務に携わることが出来ます。様々な事業所の方と話げできたことでとてもいい刺激にもなりました。より一層頑張っていきたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。まずはとにかく協会ニュースを月1回は発行できるように頑張っていきます！ (T)

